

足首の内反・外反のぐらつきに

AG-1

ANKLE GUARD EX アンクルガードEX
[ハードタイプ]

取扱い説明書 (LONG・SHORT兼用)

このたびは本製品をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。
安全にご利用いただくために、必ずご使用前に本使用説明書をお読みください。
また、お読みになった後もいつでも読めるよう大切に保管してください。

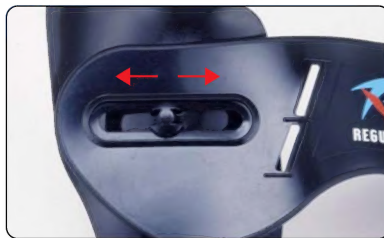


Point 1

動きやすさとフィット感を高める、
Wジョイント構造。



足首の動きの軸であるくるぶしに、くるぶしジョイントがフィット。軸のみを固定し、足首の上下運動がスムーズに行えます。また、ROMストッパーが過剰な動きを抑えます。



脚の太さ、筋肉の収縮に合わせてスライドするスライドジョイント。スネまわりにフィット感をもたらします。また筋肉を過度に圧迫しないため、装着による違和感を軽減します。

Point 2

分解して装着できるから、
オーダーメイドのようなフィット感。



AG-1は、パーツごとに分解して装着。個人差があるくるぶしの位置に、ジョイントをしっかり合わせることができ、オーダーメイドのようなフィット感が得られます。また脚の太さには、フロントシェル部のスライドが対応します。

Point 3



テーピング理論で、過度のひねりを抑える。

足首のサイドを補強するサイドステーと、くるぶしから足の裏を通すテーピング理論に基づいたスターアップベルトで足首をハードに固定。足首を内反・外反から守ります。

インナーサポーターは薄い生地を採用した高品質素材。スポーツ時の激しい動きにもしっかりフィットします。

使用上のご注意

“使用上のご注意”では、その危険度に応じて次の区分をしております。

△警告… 誤った取扱いをすると、中等度以上の人身事故(*1)が想定される内容を示します。

注 意… 誤った取扱いをすると人が軽度の傷害(*2)を負ったり、物的損害(*3)の発生が想定される内容を示します。

*1… 中等度以上の人身事故とは、失明、けが、火傷(低温・高温)、感電、骨折、中毒等で後遺症が残るもの、および治療に入院または長期の通院を要するものを示します。

*2… 軽度の傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないもの(上記以外)を示します。

*3… 物的損害とは、当該製品以外の家財・家財(衣料品、寝具などを含む)および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

取扱上の注意

●サイドステー、フロントシェル、スターアップベルトをインナーサポーターからはずし、インナーサポーターのみを30度以下の水で中性洗剤をお使いの上、手洗いしてください。●サイドステー、フロントシェル、スターアップベルトが汚れた場合には、濡らせた柔らかい布で軽くお拭きください。●アイロン、ドライクリーニング、漂白は行わないでください。●洗濯後は陰干しとし、乾燥機は使わないでください。●保管に際しては、車の中など高温になる場所には置かないでください。●本品はナイロン、ポリウレタン、その他、箱は再生段ボール紙を使用しております。廃棄する場合は各自自治体の分別方法に従ってください。

△警告

●現在ねんざをしている方や受診中の方は、使用しないでください。●使用の際は必ず取扱い説明書の使用方法に従ってください。●本品はなるべく素肌への装着は避けて、ソックスを着用した上に装着してください。●使用に際して靴ズレやかぶれなど何らかの不都合が生じた場合は使用を中止し、医師に相談してください。●長期間の使用や使用状況によっては破損する場合があります。破損した場合は速やかに使用を中止し、新しいパーツと交換してから使用してください。●インナーサポーター装着時に、アキレス腱周囲への過度の圧迫をしないように面ファスナーを止めてください。強く締めすぎると足の障害を生じる場合があります。●スターアップベルト装着時に過度に引っ張らないように注意してください。強く締めすぎるとしびれやだるさなどが生じる場合があります。●本品装着時にサイドステー、フロントシェル、スターアップベルトがインナーサポーターからはみ出さないように装着してください。インナーサポーターからはみ出ると足を傷つける場合があります。●使用中ずれやゆるみが生じた場合は、正しく装着し直してください。●装着部に傷、腫れ、湿疹など異常がある場合は使用しないでください。●就寝中は使用しないでください。●足関節以外には使用しないでください。●本品は一部硬性素材を使用しております。ルール上試合中に装着できないスポーツもありますのでご注意ください。●本品には右足用と左足用がありますので、必ず対応する側の足に装着してください。

装着方法

① インナーサポーターの面ファスナーを外します。

② 足首を直角に曲げたまインナーサポーターの下方を持って筒の中に足を入れます。その際、かかとの中心に掛かるくらいまでしっかりはめます。

③ インナーサポーターのフロント上部を上方に強めに引っ張り上げ、センターをしっかりと合わせます。※インナーサポーターをかかとやくるぶしに密着させます。

④ 足の裏を床に付け、足首が直角の状態のまま面ファスナーで止めてください。
※面ファスナーを下側から交互に締め具合を強めていくことで、より固定力が増します。

⑤ 本体に付いているスターアップベルトをスタープレートから外します。

⑥ サイドステーの位置を決めます。内側・外側のジョイント部の中心が、それぞれのくるぶしの位置になるようにします。

⑦ 位置を決めたら、サイドステーをインナーサポーターに止めます。この時、サイドステーとスタープレートが一直線になり、床に対して垂直になっていることを確認してください。

⑧ フロントシェルのREGUARDマークが前面の中心になる位置で押さえ、インサイドベルトをインナーサポーターに止めます。

⑨ その上から、アウトサイドベルト(REGUARDの文字があるベルト)を止めます。内側のサイドステーが動かないように注意してください。
※この時、スタープレート(硬い部分)の先端と床の間に1cm程度のすき間がない場合は、サポーターのサイズを小さいものに変更してください。

⑩ アウトサイドベルトを止めると、REGUARDの文字が後面にきます。

⑪ スターアップベルトを内側のスタープレートに止めて、足の裏にまわします。

⑫ 強く引き上げながら、外側のスタープレートに止めて完成です。

装着見本・前面

装着見本・後面

スぺーサーで調整
※写真は左足用です。

外側 内側
後ろ 前
上 後ろ 中心 下
くるぶしの上が痛い場合は上のスぺーサーを装着。
くるぶしの下が痛い場合は下のスぺーサーを装着。

⑪ スターアップベルトを内側のスタープレートに止めて、足の裏にまわします。

⑫ 強く引き上げながら、外側のスタープレートに止めて完成です。

装着見本・前面

装着見本・後面

アンクルガードEXを脱ぐ時は、サイドステーをインナーサポーターに付けたままでOK。装着するたびにくるぶしの位置を合わせる必要はありません。(2回目からの装着は、靴下をはくように簡単に行えます。)

サイドステーの脱着方法

●サイドステーのとめかた

① スライド上部

② スライド上部

① スライドジョイント

② スライドジョイント

①フロントシェルとサイドステーを重ねて持ち、スライドジョイント上部のツメに、スライド上部を引っかけます。②スライド下部を親指で前方に押し曲げながら、スライドジョイント下部のツメの根元にもぐりこませるようにはめこみます。

●サイドステーの外し方

①

②

①フロントシェルとサイドステーを重ねて持ち、フロントシェルのスライド上部を押さえます。②スライド下部を親指で前方に押し曲げながら、手前に引っ張るよう外します。

各部の名称

インサイドベルト
アウトベルト
ROMストッパー
ジョイント
スタープレート
スターアップベルト
フロントシェル
アウトサイドベルト
サイドステー
インナーサポーター

製造・発売元：

アルケア株式会社

〒130-0013 東京都墨田区錦糸1-2-1アルカセントラル19階
スポーツケア販売部：
〒130-0026 東京都墨田区両国2-10-14両国シティコアビル8階
TEL:03-5638-7781 FAX:03-5638-7785

<http://www.alcare.co.jp/reguard/>

本品は足関節のサポートを目的としていますが、完全に足関節を保護しねんごを予防できるものではありません。日頃より、アキレス腱のストレッチングを中心に、全身の基礎体力(筋力、柔軟性など)の増強をお勧めします。ご使用前には、取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。また、取扱い説明書は保管しておくことをお勧めします。

ご試着し、ご自分のサイズに合うことをご確認のうえ、お買い求めください。

サイズの選び方	サイズ	規格(単位:cm)		商品コードNO.			
		足首周囲	シューズサイズ	ロング		ショート	
				右	左	右	左
足首周囲を基準として サイズを選んでください。 シューズサイズは目安と してください。	LL	22.5~25.5	28.5~30.5	70431	70441	—	—
	L	21.5~24.0	26.5~28.5	70432	70442	70452	70462
	M	20.5~22.5	24.5~26.5	70433	70443	70453	70463
	S	19.0~20.5	22.5~24.5	—	—	70454	70464

※本取扱い説明書の内容は平成18年5月現在のものです。